

第3回東京都認知症対策推進会議の議論のまとめ

1 第2回認知症対策推進会議の議論のまとめについて

- (1) 説明（事務局）
- ・第2回推進会議での議論の要旨を説明
- (2) 主な意見（特になし）

2 仕組み部会における検討状況

- (1) 説明（林部会長・事務局）
- 地域資源ネットワークモデル事業について
両区市のモデル事業の推進体制や位置づけの変化等について報告
 - 認知症生活支援拠点モデル事業について
各モデル事業者と地域資源の連携状況について報告
 - 個人情報の取り扱いについて
地域の高齢者の見守りマップと個人情報についての検討状況を報告
- (2) 主な意見
- 見守りのためのマップについて
 - ・認知症高齢者が地域で徘徊しているのを発見したときに、発見した人が、認知症高齢者をどこに案内したらよいのかが分かるようなマップだと役立つ。また、発見や判断のポイントも盛り込まれているとよい。
 - 地域の民間業者との連携について
 - ・商店街や一般企業等の民間業者との連携を促進するためには、互いの共通の利益を発見するところから始めるのがよい。互いに地域住民として豊かな生活をしていくためには、相互理解に止まらず、もう一歩ぐらい先をイメージしたらどうか。
 - 個人情報の取り扱いについて
 - ・認知症の人の支援に必要なマップは地域が限定されることが多い。限定されている中であれば、ネットワークを構築し、必要度を検討の上、個人情報を共有してもよいのではないか。

3 東京都認知症専門医療機関実態調査について（報告）

- (1) 説明（事務局）
- ・実態調査概要版及び報告書を元に、調査結果の概要について説明

- (2) 主な意見
- 家族の会で、認知症の診断・治療にどこの医療機関にかかったらよいのかという相談の電話を多く受けている経験からすると、この調査の結果は意外に感じる。
 - 調査にバイアスがかかっているのではないか。
 - 調査の結果を見ると、診断・治療ができると回答しているものの患者数が非常に少ない医療機関があることから、こういった医療機関が患者や関係者に知られていないのではないか。

4 医療支援部会における検討状況

- (1) 説明（繁田部会長・事務局）
- ・MCI から軽度について、「考え方（要旨）」を報告するとともに、中等度についての検討状況を報告
- (2) 主な意見
- かかりつけ医が専門医療機関への受診を薦める場合でも、受診先を紹介してもらえないことがよくある。このような場合に、家族等が受診可能な医療機関について家族会に問い合わせ・相談してくる例は多い。
 - 認知症に関して診断・治療できる医療機関の状況については、「東京都認知症専門医療機関実態調査」で明らかになったと考えるが、生じている症状に応じてどの医療機関に受診したらいいのか、という点については、今後の検討が必要。
 - 受診・診断時に、認知症の本人の前で予後の見通しまで話してしまうのは問題なのは。
 - 中等度以降の段階になると、施設等に入所する人も増えると考えられるが、施設に入所するとかえって医療との関係が遠のく印象を受けることがある。

5 20年度における取組みについて

- (1) 説明（事務局）
- ・認知症対策推進会議（専門部会含む。）及び関連事業（認知症生活支援モデル事業等）のスケジュールについて説明
- (2) 主な意見（特になし）